

医療専門職教育における利益相反 自己点検・評価表

(日本医学教育学会作成)

点検項目		自己点検			
対象：所属機関（組織・団体）		はい	いいえ	該当無	自由記載欄
贈答品	特段の妥当な理由によって、営利企業から教育担当者等に贈答品の提供があった場合は、その内容及び金銭的価値を把握し、必要に応じて公開・報告している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
飲食物	特段の妥当な理由によって、営利企業から教育担当者等に飲食物の提供があった場合は、その内容及び金銭的価値を把握し、必要に応じて公開・報告している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
営利企業による 医療機関訪問及び 医薬品・医療機器の説明	営利企業担当者による医療機関の診療部門領域への訪問を規制する具体的な対応を取っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
営利企業からの労務提供	学会や研究会の運営、医局行事等、医薬品・医療機器の適正使用に関係しない活動については、原則、営利企業担当者の労務提供を認めていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
医療専門職 教育プログラム	プログラムの構築において、営利企業からの影響が及ばないように、教育責任者自らにプログラムを作成させている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	寄附金等の受け入れにより教育プログラムの内容が影響されないようにしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
医療専門職教育教材	医療専門職教育者自身が開発した教材を教育に使用する際、学習者にその教材の購入を強制させない。それらを推薦する場合には、推薦理由が妥当であることを明確に提示させている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究を実施する際には、対象者に利益相反状態が存在することを文書で開示させている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究に関して、学会や論文誌で報告する際には、発表スライドの最初や論文上で利益相反を開示させている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

医療専門職教育教材	新たな医療専門職教育教材の導入に当たっては、純粋に教育学的効果や必要性などの透明性のある根拠に基づかせている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
学習者を対象とする 教育活動に関する研究	医学生や研修医等、学習者を対象に研究を実施する場合は、十分な説明と同意が書面で行われたとしても、常に無言の強制力が働くことを認識させ、学習者の自発性が十分に確保されるように配慮させている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	研究への参加の有無が、医学生や研修医等、学習者への評価に影響しないような具体的な対応を取らせている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	研究が学習者評価と関連しないことを、あらかじめ対象となる学習者に文書で説明させている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
入学・入職者選抜、 キャリア形成支援、 人事、推薦	教育担当者が自己の利益を勘案することが、入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦に関する判断に対して不当な影響を与える可能性があることを認識させている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	教育担当者が前項を理解したうえで、社会的要請や人物評価を基に適切に入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦を行っていることを保証している。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

日本医学教育学会「医療専門職教育における利益相反（Conflict of Interest、COI）についての考え方」に基づいて作成

<http://jsme.umin.ac.jp/coi/doc/COI20190108n.pdf>

贈答品	特段の妥当な理由があり、もし贈答品の提供があった場合は、所属機関がその内容及び金銭的価値を把握し、必要に応じて公開・報告する。
飲食物	特段の妥当な理由があり、もし飲食物の提供があった場合は、所属機関がその内容及び金銭的価値を把握し、必要に応じて公開・報告する。
営利企業による 医療機関訪問及び 医薬品・医療機器の説明	営利企業担当者による医療機関の診療部門領域への訪問を規制する具体的な対応を取る。
営利企業からの労務提供	学会や研究会の運営、医局行事等、医薬品・医療機器の適正使用に関係しない活動については、原則、営利企業担当者を参加させない。
医療専門職 教育プログラム	プログラムの構築において、営利企業の影響が及ばないように、教育責任者自らがプログラムを作成する。 寄附金等の受け入れにより教育プログラムの内容が影響されないようにする。
医療専門職教育教材	医療専門職教育者自身が開発した教材を教育に使用する際、学習者にその教材の購入を強制しない。それらを推薦する場合には、推薦理由が妥当であることを明確に提示する。 営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究を実施する際には、対象者に利益相反状態が存在することを文書で開示する。 営利企業が関与して開発・製造・販売する医療専門職教育教材の調査や研究に関して、学会や論文誌で報告する際には、発表スライドの最初や論文上で利益相反を開示する。 新たな医療専門職教育教材の導入に当たっては、純粋に教育学的効果や必要性などの透明性のある根拠に基づく。
学習者を対象とする 教育活動に関する研究	医学生や研修医等、学習者を対象に研究を実施する場合は、十分な説明と同意が書面で行われたとしても、常に無言の強制力が働くことを認識し、学習者の自発性が十分に確保されるように配慮する。 研究への参加の有無が、医学生や研修医等、学習者への評価に影響しないような具体的な対応を取る。 研究が学習者評価と関連しないことを、あらかじめ対象となる学習者に文書で説明する。

入学・入職者選抜、 キャリア形成支援、 人事、推薦	自己の組織の人員や経済活動等、自己の利益を勘案することが、入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦に関する判断に対して不当な影響を与える可能性があることを認識する。
	入学・入職者選抜、キャリア形成支援、人事、推薦においては、社会的要請や学習者の能力・人物評価を基に実施し、自己の利益を反映させない